

次世代の産業人材育成事業「しごと体感ゼミナール 2024 IN あまがさき」 開催結果報告

1. 開催日時：令和6年9月14日（土）～15日（日）12:00～16:30

2. 開催場所：尼崎商工会議所 各会議室

3. 参加者数：307人（アンケート数でカウント） ※申込者数351名

性別 男子：104人 女子：192人 回答しない：11人

学年 4年：111人、5年：93人、6年：103人

<各セミナー参加者数内訳（複数講座参加を含む延べ人数）>

	9月14日	第1セミナー	第2セミナー	第3セミナー	合計	総定員	受講率
A	(株)植木工務店	8	8	7	23	30	76.7%
B	(株)マロン美容室	4	4	6	14	18	77.8%
C	nicoma	5	6	5	16	18	88.9%
D	あやまたずtera	6	6	7	19	24	79.2%
E	阪神電気鉄道(株)	8	7	6	21	30	70.0%
F	ヒロセエンジニアリング(株)	9	7	7	23	30	76.7%
G	大阪富士工業(株)	9	6	9	24	30	80.0%
H	デライトラボ	4	4	3	11	18	61.1%
I	(株)サンクスポート	8	11	6	25	45	55.6%
J	(一社) みんなのあま咲き放送局	5	4	5	14	18	77.8%
	合計	66	63	61	190	261	72.8%
	9月15日	第1セミナー	第2セミナー	第3セミナー	合計	総定員	受講率
K	(株)ベイ・コミュニケーションズ	6	9	8	23	30	76.7%
L	ネットトヨタ神戸(株)	4	5	3	12	15	80.0%
M	尼崎・伊丹市内郵便局	6	5	5	16	18	88.9%
N	Balloon-tino	9	7	10	26	30	86.7%
O	(株)ウエルネス	7	6	11	24	45	53.3%
P	(株)甘露園	7	8	9	24	30	80.0%
Q	(株)Atoms World	5	5	2	12	15	80.0%
R	(株)Professional	8	9	6	23	30	76.7%
S	都ホテル 尼崎	6	8	6	20	24	83.3%
	合計	58	62	60	180	237	75.9%

4. 開催の様子



会場装飾の様子



受付の様子



ノベルティー配布の様子

・出展企業の様子 (9/14)



A: (株)植木工務店



B: (株)マロン美容室



C: nicoma



D: あやまたず tera



E: 阪神電気鉄道(株)



F: ヒロセエンジニアリング(株)



G: 大阪富士工業(株)



H: デライトラボ



I: (株)サンクスポート



J: (一社) みんなのあま咲き放送局

・出展企業の様子（9/15）



K：(株)バイ・コミュニケーションズ



L：ネットヨタ神戸(株)



M：尼崎・伊丹市内郵便局



N：Balloon-tino



O：(株)ウエルネス



P：(株)甘露園



Q：(株)Atoms World



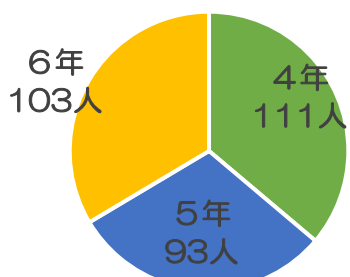
(株)Professional
(ペイントはなまる)



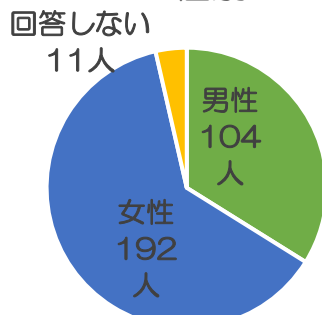
S：都ホテル 尼崎

5. アンケート結果

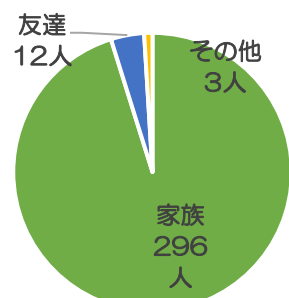
学年



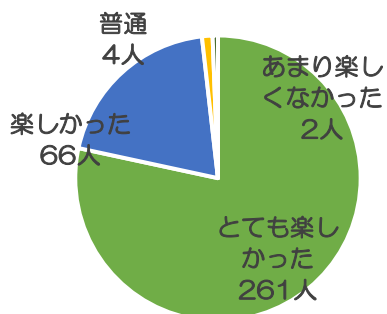
性別



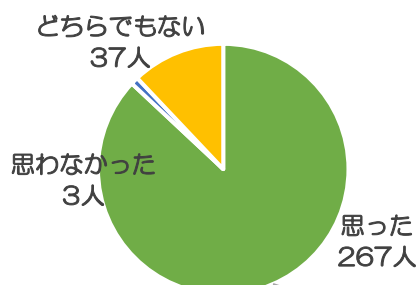
誰ときましたか？

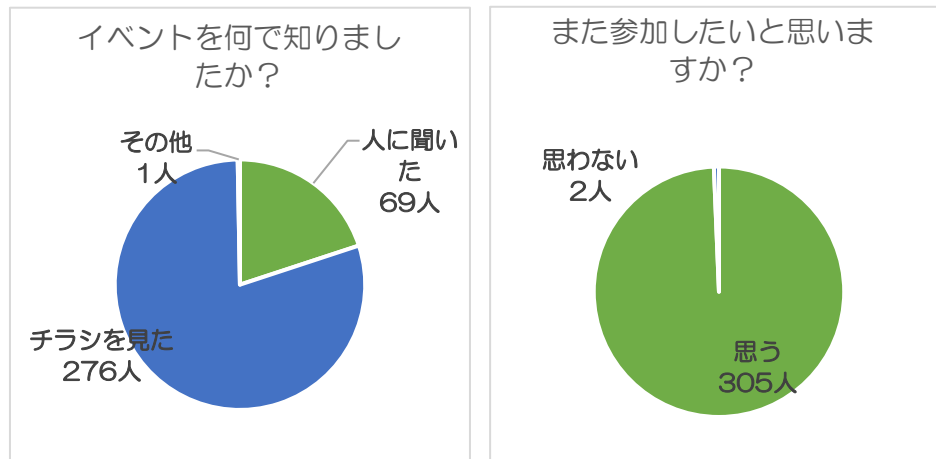


今日は楽しかったですか？



仕事をするのは楽しい
と思ったか？





他にやってほしかった内容がありますか？（自由記述）

- ・応用した編み込みアレンジ体験（4件）
- ・電車の運転、駅長体験（4件）
- ・お菓子作り体験（2件）
- ・プログラミング体験（3件）
- ・テレビ番組作成、インタビュアー体験

6. 次年度に向けて

昨年同様に、今年度も2日間開催で実施したが、3連休中の開催や毎年人気の飲食業からの出展企業が1社のみとなったことにより、申込者数の減少が予想されたため、チラシの配布やDM送付先の追加などの対策をとった結果、昨年と比べ応募者数は微減したものの、1次・2次合わせて351名から申込みをいただいた。また、従来通り第3希望まで選択可能としたことで、全体の落選者は0名に留めることができた。

体験会場については、今年度も4階から7階の会議室で実施した。以前は全て階段で体験会場へ移動を行っていたが、今年度は4・5階については階段、6・7階についてはエレベーターを使用するように変更したことで、移動に関する参加者や保護者からの意見は減少した。

休憩・準備時間については、従来30分であったが、出展企業スタッフや小学生が休憩を取れない状況であったため、45分に変更した。これにより、準備や休憩時間を確保できたが、複数のセミナーを受講する参加者が退屈する場面もあり、次年度以降も検討すべき課題となった。

ノベルティーについては、昨年好評だった「お菓子のつかみ取り」を再度実施し、体験以外でも参加者に満足していただいた。また、来年1月に阪神淡路大震災から30年を迎えることから、防災意識を高めるために「ホイッスル付きライトペン」や「クリアポーチ」を配布した。

体験会場については、水道や音響設備を使用する出展企業には個室を用意し、他の出展企業と準備が重ならないようにブース配置を工夫した。しかし、一部の体験会場では、電源ブレーカーが落ちたことや、複数の体験を同時に実施したために声が届きにくくなったなどの問題が発生した。次年度以降、開催前に出展企業と共有すべき確認事項として、追加すべきだと感じた。

キャンセル者については、昨年は90名ほどのキャンセルが出たため、今年度は事前にキャンセルがあった際、追加受講などの連絡対応を行ったが、今年度も当日44名のキャンセルがあり、空席が目立った講座があった。今後、イベント実施前に参加証とともに受講希望書を同封する等キャンセル者を減少させる対策を検討する。

課題はあったが、来場された保護者から「子どもがイベントを心待ちにしていた」との感謝の言葉をいただき、事業が多くの方に楽しみにされていることを実感した。事業の認知度が高まっている中、参加されたスタッフや出展企業と改善点や気づきについて意見交換をしながら、次年度以降もより良い事業を目指して取り組む。